

12月定例会・議案など	2
12月定例会・一般質問	3～7
議案等に対する各議員の賛否状況	6～7
委員会等活動報告	8
議員の行政視察など	8

平成30年10月4日から平成30年12月31日までの出来事を掲載しました。



タイトル：二色のソメイヨシノ
撮影者：田中 孝二さん

議 会 ト ピ ッ ク ス

弘前市総合計画(素案)について 議員全員協議会開催

平成30年12月21日(金)、議員全員協議会が議場において開催され、弘前市総合計画(素案)について理事者より説明がありました。この議員全員協議会で出た議員の意見やパブリックコメントをもとに最終案をまとめ上げ、平成31年第1回定例会で再度説明したいと考えていると市長は述べています。

議員からは「総合計画策定にあわせてまちづくり基本条例も直して整合性をとるべき」「基本構想に産業の土地利用についてしっかりと明記してほしい」「客観的な数字を示せるものは指標のとり方を再考すべき。また、市民にもわかりやすい数値にしてほしい」「現状での達成可能値ではなく、将来都市像、政策の方向性の目指す姿を達成するために必要な目標値を設定すべき」など、様々な意見・要望が出されました。

弘前子ども議会



子ども議会の様子

平成30年12月26日(水)、議場において第8回弘前子ども議会が開催されました。小学校では23校46名の児童、中学校では17校50名の生徒が参加し、小・中学校ともに『弘前の魅力である「伝統・文化」について』というテーマに基づいて話し合いが行われました。

平成30年第4回定例会

【会期：平成30年11月30日(金)～12月21日(金)】

市長提出議案 73件

○平成30年度弘前市一般会計補正予算（第6号）

新陳代謝・給与改定等に伴う給料・職員手当等の人件費のほか、新中核病院整備に係る交通基本計画の策定や元号改正に伴うシステム改修に要する経費などを計上するとともに、障害者総合支援法等関係事業など事業費の追加・減額に伴う補正をするものです。

また、地域おこし協力隊導入事業などに係る繰越明許費の設定、指定管理料や年度初めにおける工事の早期発注を行うための債務負担行為の追加など、所要の予算措置を行うものです。

○平成30年度弘前市一般会計補正予算（第7号）

国の補正予算(第1号)におけるブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金を活用し、市立小・中学校の普通教室及び特別教室(音楽室)に冷房設備を設置するための経費を計上するとともに、当該事業に係る繰越明許費及び地方債を補正するものです。

○不動産の処分について

相馬保育所を民間移譲することに伴い、同保育所の建物を売却することに、弘前市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求めるものです。

12月補正後の平成30年度予算

一般会計 796億2429万6千円
 (12月補正額 16億2130万5千円)
 特別会計 412億1080万5千円
 (12月補正額 ▲851万1千円)



民間移譲される相馬保育所

人事案件

1件 ○人権擁護委員候補者の推薦について（1名） 田中慶一氏(新任)

議員提出議案 1件

条例の改正

○弘前市議会委員会条例の一部を改正する条例案

議員発議 1件

意見書

○西十和田トンネル建設促進に関する意見書（要約）

国道102号は津軽と南部を結ぶ十和田湖経由の大動脈として、東北縦貫自動車道弘前線と八戸線の連絡道の役割を一部担うほか、十和田・八幡平圏域への観光ルートとして重要な役割を担う路線である。また、青森県、秋田県にまたがっている十和田湖南西地域の山間部における災害時等の避難路としても非常に重要な役割も兼ね備えていながら、山岳区間5.1kmは毎年4カ月余り冬期閉鎖され、津軽と南部の物流の連絡が不便になるほか、冬期観光ルートプランニングや災害時等の避難路確保におけるマイナス要因ともなっており、国土の均衡ある発展のためにも、西十和田トンネル(仮称)の早期建設を強く要望する。

※意見書の提出先
青森県知事、秋田県知事

請願 2件

- 教育の無償化・負担軽減に関する請願（書） …… 不採択
- 日本政府に「核兵器禁止条約の署名調印・批准を求める」意見書提出を求める請願 …… 不採択

陳情 1件

○平成31年度私立幼稚園助成に関する陳情書
※陳情書は議員に参考配付しました。

平成30年第4回定例会日程 (22日間) ○傍聴者の数：48人

11月30日(金) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明	12月18日(火) 常任委員会	予算決算
12月1日(土)～12月10日(月)	議案熟考	12月19日(水)～12月20日(木)	議事整理
12月11日(火)～12月13日(木)		12月21日(金) 本会議	各委員長報告、質疑、討論、表決、閉会
12月14日(金) 本会議	一般質問		
12月17日(月) 常任委員会	一般質問、議案付託 経済文教、建設、総務、厚生		

平成30年は延べ**305**人が傍聴しました。
日程をご確認の上、お気軽にお越しください。



一 般 質 問

質問・答弁の要約を掲載いたします。

※敬称略。()は所属党派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。



尾崎 寿一
(自民・公明・憲政)

行政組織の見直しについて

問 留意点と見直しの内容は。

答 市では、社会情勢や市民ニーズの変化、行政課題に柔軟かつ的確に取り組むため、随時行政組織を見直してきた。平成31年4月の見直しに向け、市民の満足度を最大限に高める市政運営を行うため、ひとづくりや雪対策、地域共生社会の実現に向けた福祉政策や交通政策を一層進める部署の新設等を検討している。

弘前市役所での障がい者雇用について

問 今後の取り組みは。

答 障がい者を対象にした正職員の採用試験を今年度中に実施するため、準備を進めている。試験の実施時期は、一次試験を平成31年2月に、二次試験を3月に実施し、合格発表後に説明会等を行い、6月1日までに雇用していきたい。

〈その他の質問項目〉

○都市公園の管理 ○余裕教室の利活用



加藤 とし子
(弘前市民クラブ)

イオンタウン弘前樋の口店へのバス運行について

問 店舗敷地内を通る運行にできないか。

答 高齢者ドライバーの運転免許の自主返納対策や買い物難民の増加等が社会問題となっており、公共交通の必要性が増してきている。平成28年5月に弘前市地域公共交通網形成計画を策定し、樋の口地区は市街地西部の交通結節点として位置付けた。交通結節点である樋の口で

乗合タクシーから路線バスへの乗り継ぎ等ができるよう、店舗敷地内の運行について弘南バス株式会社、イオンタウンと協議した結果、実現はできなかったが、利用ニーズはあるものと認識しており、引き続き課題解決に向けて検討していく。

〈その他の質問項目〉

○弘前市男女共同参画プラン ○性教育
○教員の働き方改革 ○認知症サポーター
○超高齢者に対応したごみ出し支援



一戸 兼一
(弘新会)

市政運営について

問 平成31年度予算編成の方針に示された方向性とそれに込めた市長の決意は。

答 公約に掲げた3本の柱に加え、地域コミュニティと2025年問題への対策を重要施策と位置付けた。特に力を入れているのは子どもたちの学習環境整備。そのほかは農道整備の拡充や農作業の省力化と効率化を図るための農業機械の導入支援を引き続き実施する予定としているほか

市民生活を第一に予算編成をしていく。

問 中期財政計画は普通建設事業費として5年間で約400億円と見込んでいるが、大規模建設費も含まれているため、十分な市有施設の老朽化対応が可能か危惧されるが、今後の方向性は。

答 小中学校のトイレ改修などを優先的に位置付けたほか、事業費が減少傾向となる平成33年度以降は様々な施設改修に対応するための経費を増額し計上した。



石岡 千鶴子
(無所属)

市役所における障がい者雇用について

問 今後のスケジュールは。

答 正職員及び非常勤職員等29人を採用する計画のもと採用試験を実施する。

統合後の市立病院施設の活用について

問 総合保健センターの機能を移転し、健康・医療・子育ての拠点にしてはどうか。

答 庁内横断的な検討会議を開催し、今後市民の声を聞きながら検討していく。

桜ヶ丘地区の除排雪について

問 新たな対策があるのか伺う。

答 桜ヶ丘地区をモデル地区としてパトロールの強化に努め、地域の実情に合ったきめ細やかな除排雪につなげていく。

高齢者(65歳以上)の独居世帯について

問 当市の今後の対応は。

答 救急搬送された高齢者の情報把握ができる「救急安心カード」の導入を検討しており、早期の実現に努める。



蒔苗 博英
(自民・公明・憲政)

教育環境の整備について

問 小・中学校のエアコン設置計画は。

答 熱中症対策として空調設備の整備を推進する国の臨時特例交付金を受けて、市立の全ての小・中学校の普通教室、特別支援学級及び音楽室の整備を進め、平成31年度中に完成する見込み。

問 小・中学校のトイレ改修の進捗は。

答 今年度の改修が終了するとトイレの洋式化率は51.1%となる見込みで、今後

は、全面的なトイレ改修が必要な12校について、国の補助金も活用して平成33年度までに解消したい。

問 スキー教室での市内施設の利用は。

答 平成29年度に、スキー教室や体育授業等でスキー場を利用した市立小・中学校の延べ利用人数と割合は、百沢スキー場が1,365人で34.9%、そうまロマンティアスキー場が1,139人で29.1%。学校のニーズを把握し、利用促進に努める。



松橋 武史
(弘新会)

日本版DMOについて

問 市が目指す14市町村で構成するDMOとは。

答 中南地域と西北地域の14市町村で構成する津軽広域観光圏協議会の圏域をマネジメントエリアとして地域一体の魅力的な観光地域づくりを進めていきたい。

小・中学校の置き勉について

問 現状について問う。

答 使用予定のない教材等を置いて帰る

など生徒の携行品を検査、見直した学校もある。今後も生徒の安全と健全な成長を第一に考え取り組む。

禅林街等でのイベント開催について

問 禅林街でイベントはできないか。

答 禅林街での骨とう市や塗り物市開催は大変魅力的なイベントである。

問 めじゃーリーグ開催の検討結果は。

答 更なる賑わいの創出が可能かどうか、引き続き研究していきたい。



野村 太郎
(自民・公明・憲政)

北海道・北東北縄文遺跡群の世界遺産登録について

問 これまでの経緯と今後の取り組みは。

答 今年度、文化庁文化審議会で国内推薦候補に選定されたが、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」を推薦候補とする発表があった。縄文遺跡群世界遺産登録推進本部では来年度の推薦選定を確実にするため、今後も多方面でのアピール活動を行う方針を示している。市

も遺跡と周辺環境の整備や保全を進め、登録に向けた取り組みに協力していく。

水道事業の今後について

問 水道施設の更新予定と費用は。

答 弘前市水道事業資産管理計画で施設更新の考え方と財政収支の見通しをまとめており、計画期間40年間の更新は、適正な時期の見極めによる更新や規模の適正化に取り組む。更新費用は約289億円、管路は約379億円を見込んでいる。



木村 隆洋
(自民・公明・憲政)

今冬の除排雪について

問 雪を前提とした「まちづくり」とは。

答 今冬の除排雪については、「雪が降ってから対策を講じるという発想から、雪のことを熟知している人の発想でまちづくりを考える」という視点に立ち、効率的・効果的な除排雪体制の構築に取り組んでいる。

雪に関する総合的な計画である「弘前市雪対策総合プラン」についても、改定

作業を進めているが、地域に合った除雪体制の構築や、地域住民・民間事業者・行政が連携したコミュニティによる雪対策など、人口減少や超高齢化社会に対応し、次世代に向けた雪対策の推進と実効性の高い計画とすることで、「雪に強いまちづくり」の実現に向けて進めていく。
(その他の質問項目)

○教育行政 (いじめ、不登校について)

○観光行政 ○急患診療所の整備



栗形 昭一
(無所属クラブ)

市の人口減少対策について

問 市の見解を問う。

答 市民生活を第一に市民生活の充実を図ることが最も重要な人口減少対策であり、様々な施策展開により市民の生活が豊かになり、地域の魅力が向上し、結果的に市民の定住と地域外からの移住が促進されると考える。具体的な取り組みとして「子育て世代包括支援センター」を開設し、安心して妊娠・出産・育児がで

きる環境を整え、妊娠・出産を望む市民に対し不妊治療に要する経費を支援する。

弘前公園(植物園)について

問 魅力ある植物園の整備について。

答 弘前城植物園ならではのガイド手法の構築を目指し、指定管理者の知識向上と意識改革による人材育成と指導を行う。また、庭園の見直しや新たな魅力創出として、四季折々の花による見所を増やすなど入園者の増加を図る整備を検討する。



佐藤 哲
(弘新会)

医療政策について

問 胃がん内視鏡検診の現状は。

答 近年は早期発見・早期治療が可能な胃がんの発症予防に重点をおいた対策を推進してきた。今年度から胃がん検診に内視鏡検査を導入しており、厚生労働省でも推奨しているが、現在のところ全国でも導入自治体はごく少数で、県内では当市が初である。医師会の協力もあり3か月間で当初見込み人数を既に上回って

おり市民の関心も高く、胃がん死亡率の減少につながるものと考えている。

問 糖尿病予防プログラムの方向性は。

答 生活習慣病予防対策の一環として、市と医師会が県内初となる糖尿病性腎症重症化予防に係る連携協定を平成29年3月に締結し、糖尿病の重症化を防ぐ取組方針や役割、実施手順等を示した。受診勧奨や保健指導をすることで、人工透析への移行や重症化を防止していきたい。



小田 桐 慶二
(自民・公明・憲政)

災害時用備蓄品の現状と今後の計画について

問 当市の現状について伺う。

答 「指定避難所」については、91カ所を指定し、このうち市立小・中学校46施設、収容人数は約5万3000人である。

市では、備蓄物資支給対象者として水害時に想定される最大避難者数を根拠に約1万9000人分の食料を備蓄している。備蓄食料品は、アルファ化米・アルファ

化米の白粥約5万7000食、粉ミルク約16キログラム、飲料水用の保存水500ミリリットル約1万9000本の備蓄を完了した。保管場所は、旧大成小学校校舎に集中備蓄したほか、元寺町分庁舎やはるか夢球場でも一部保管している。発電機も、指定避難所の全小・中学校に備蓄している。

備蓄物資の供給体制は、配給計画を策定し必要な食料・物資等を避難者に提供することとしている。



鳴 海 毅
(自民・公明・憲政)

農業行政について

問 今年は農家にとって大変な年だったと思うが。

答 農業が足腰の強い産業であり続けるためには、需要のある農産物の高品質かつ安定的な生産、確実な販売が重要である。県を中心に「青天の霹靂」をけん引役として、県内外に対して県産米を積極的にPRしている。今後も農業者目線で、農業者や関係団体のご意見をしっかりと

伺い、農業の振興に鋭意努めていく。

小規模特認校常盤野小・中学校について

問 実施状況について伺う。

答 嶽さみ栽培や自然観察教室等が行われ、冬はアルペン、ノルディックのスキー授業、校内大会が予定されるなど体験重視型教育が行われている。外国語指導助手の常駐により、外国語活動等のほか、その他の授業や行事など日頃から英語に接する時間を増やす試みも行っている。



鶴ヶ谷 慶市
(自民・公明・憲政)

地元産りんごジュースの自販機販売について

問 地元りんごジュース製造業者、自販機メーカーの反応はどうか。

答 業者からは、県内でりんごジュースは売れず、利益が見込めないとの回答のほか、地元りんごジュースメーカーは、ペットボトルのコストや定期的な商品補充、売上金の回収、清掃は難しい。大手単一メーカー系自販機設置業者も、自社

商品しか入れられず、実施は難しいとの回答であった。一方、複数メーカーの商品を扱う自販機設置業者は、まつり期間限定で自販機1台に入れてみたいとの意向があり、りんごをテーマのラッピングPRやスマホアプリと自販機の連動したポイント獲得やクーポンなど自販機自体の売り上げが伸びる等の提案をしたい。

〈その他の質問項目〉

○岩木山総合公園の施設○旧百沢小学校



伏見 秀人
(弘 新 会)

骨髄バンクドナー登録状況と移植ドナー支援事業について

問 導入の経緯と課題について伺う。

答 県内4市町村で骨髄移植ドナー支援事業を実施しており、当市としても一刻も早くドナー登録者と提供者の増加を図るための支援策が必要だと判断した。1人でも多く骨髄バンクにご理解いただき、企業・団体が従業員の骨髄提供にご協力いただけるよう普及啓発に努めたい。

全施設の安全設備（消防設備、電気設備等）に係る保守点検について

問 保守点検の状況と対応策を伺う。

答 不具合箇所等に対し、予算内では全てに対応できていないものと認識している。予防・計画保全の観点から優先順位の考え方を全庁的に整理し、現在指摘されている消防設備、電気設備など緊急性・重要性が高いものは必要な対応を行うよう施設所管課へ指示してまいりたい。



越 明 男
(日 本 共 産 党)

平成31年度予算編成方針について

問 予算編成の基本は。

答 公約である「くらし」「いのち」「ひと」の3本柱に加え、「地域コミュニティ」と「2025年問題への対策」を重要施策と位置付け、「市民目線での市民生活を第一」に全体予算を組み立てていく。

吉野町緑地周辺整備PFI事業等について

問 事業の見直しは。

答 平成29年6月に締結した吉野町緑地

周辺整備事業は、PFI方式の採用により、民間事業者の専門的なノウハウ等を生かした質の高いサービスが提供できる。事業契約書では平成31年度中にPFI事業者を指定管理者に指定するよう努めることとしており、仮に議会の承認が得られない場合は、状況により市の責めに帰すべき事由による契約解除の可能性があり、相応の市の負担発生も考えられ、現在、指定管理者の見直しは考えていない。



石山 敬
(自民・公明・憲政)

農業と障がい福祉について

問 当市の障がい者就労状況と、うち農業関連就労状況の取り組みについて伺う。
答 平成29年度の障がい者の就労状況は、弘前公共職業安定所管内での障がい者の求職申込者数366人に対し、就職が決まったのは251人で、このうち農業は2人である。平成29年度に障がい者がそれぞれの障がいの特性に応じて実施できる作業、できない作業をあらかじめ把握す

ることを目的に、個人カルテとなる作業内容実施評価票の様式を作成し、今年度はそれを用いて、試行的に弘果りんご園において実習作業を行ったところである。りんご生産量日本一である弘前市ならではの農福連携として共生社会のモデルの1つとなり得るものと期待し、今後も施行を継続して実施し、課題を洗いだしつつ、障がい者1人1人に合わせた評価票の作成ノウハウを収集してまいりたい。



千葉 浩規
(日本共産党)

市道豊田4号線の弘前東高前駅付近の変形十字路の整備について

問 当該箇所整備について、事業の進捗状況、今後の整備計画について答えよ。
答 本年5月には支障建物の移転補償契約を締結。6月には解体が完了したことにより、所有者から土地の寄附を受けた。この土地を有効活用した対策が可能となったことから、来年度には電柱移転や側溝整備等を行い、変形十字路の安全対

策をすべて完了させる。これにより、交差点内における車両通行の円滑化と歩行者の退避スペースを確保できる。このように地域の課題については、抜本的な対策を講ずることができない場合も多々あるが、地元関係者のご理解とご協力を得ながら、できるところから実行していく。
 〈その他の質問項目〉○在宅心身障がい者タクシー等移動支援事業 ○生活保護行政 ○食品廃棄物の再資源化の推進



外崎 勝康
(自民・公明・憲政)

子育て世代包括支援センターについて

問 市長の基本的な考えについて。
答 妊娠中から妊産婦の情報を集約し、必要な支援へつなぐ子育て世代包括支援センターの設置を平成31年度予算に計上し、同年4月から事業開始を目指したい。
ファシリティマネジメントについて
問 公共施設について。
答 更新費用は、平成27年度試算で5872億円が見込まれる。公共施設全ての更新

は困難であり、財政運営上の大きな課題。
農家の収入保険制度について
問 果樹共済の特定危険方式廃止の対応。
答 農業者への戸別訪問による制度周知と加入の意向調査を実施し、収入保険や総合一般方式への加入促進に努める。
路面下空洞調査について
問 調査内容と結果について。
答 緊急輸送道路を中心に平成29年度17.2キロ、今年度15キロ調査を実施した。

**議会を傍聴
しませんか**

議会（本会議、委員会など）は原則、どなたでも傍聴できます。

市役所前川本館4階で受付していますので、お気軽にお越しください。

議案等に対する各議員の賛否状況

議案は、○は賛成、●は反対。
 請願は、○は採択、●は不採択。
 ーは採決に合わなかったもの。
 議長（下山文雄）は採決に加わっていません。
 ※賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

定例会の一般質問等のラジオ放送

本会議の傍聴やインターネットでの中継視聴ができない方のため、ラジオ放送もしています。

FMアップルウェーブ（周波数78.8メガヘルツ）で、一般質問等の様子を当日午後8時から放送します。※緊急時、災害時には変更される場合も有り

平成31年第1回定例会日程（予定）

- （2月15日（金））議会運営委員会 会期日程等の協議
- 2月22日（金）開会日（本会議）開会、会期の決定、提案理由の説明
- 3月22日（金）閉会日（本会議）各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会

※日程については、議会開会前にホームページ等でご確認ください。

議案等名
弘前市議員報酬、費用弁償等の額及びその支給方法条例の一部を改正する条例案
弘前市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例案
不動産の処分について
教育の無償化・負担軽減に関する請願（書）
日本政府に「核兵器禁止条約の署名調印・批准を求める」意見書提出を求める請願



今泉 昌一
(無所属クラブ)

スクールバス・タクシー等、児童の通学交通手段について

問 現状は。
答 遠距離通学の支援策や安全な通学手段確保のため、業務委託による送迎用のスクールバスやタクシーの運行や、自家用車送迎等に対し、通学費助成金を支給している。学校統合等で遠距離通学等となった場合の支援策を、保護者との意見交換会やアンケート調査を行い、利用者

の意向を確認し、柔軟に対応していく。
指定管理者制度について

問 利用料金及び使用料金制度の区別は。
答 同種の施設でも施設の利用状況や課題等は異なるため、利用料金制の導入が施設の設置目的の達成、課題解決及び活性化につながるかを施設ごとに検討している。利用料金制を導入する画一的な判断基準を設けることは困難と考えるが、導入について積極的に進めていきたい。



石田 久
(日本共産党)

国民健康保険について

問 市民の願いにこたえ、国保料は引き下げるべきと考えるが、市の見解を問う。
答 平成27年度末に抱えていた約17億7千万円の累積赤字は解消したが財政調整基金は約187万円で安定的な運営とは言えず、今後の財政運営も厳しい見方が必要と考える。まずは現行の保険料率を維持し、政策的繰入の実施、収納率向上対策や医療費適正化対策に取り組み、

単年度黒字化の継続に努めていく。

保育料無償化について

問 市の見解を問う。
答 平成31年10月からの実施を目指すこととしており、財源は消費税10%への引き上げによる増収分を充てる。社会保障の充実に充てられることは望ましいが、事務的経費を含めて地方の負担を伴うことなく、国の責任において実施する制度であることが望ましいと考えている。



工藤 光志
(自民・公明・憲政)

次期総合計画について

問 基本構想及び基本計画の議決は。
答 総合的かつ普遍的な市の方向性を示す「基本構想」を新たに設け、議決事項とし、市長の政治理念に基づく具体的な取り組みを示す「基本計画」は、市長決定とする。「基本構想」と「基本計画」に分けることにより、市長交代があっても議決された「基本構想」に基づき、新市長が具体的な取り組みを展開できる。

新中核病院について

問 交通基本計画策定事業は。
答 国立病院機構弘前病院の敷地内に、新中核病院を整備して救急医療センターも設置することとなり、救急患者の生存率向上のためにも搬送経路の確保が重要となる。交通需要予測と建設予定地付近の交差点の混雑度を解析し、公共交通のあり方も検討して、患者を含む来院者の安全で円滑な移動手段を確保したい。

平成30年第4回定例会審議結果

※議会での慎重審議により、可決、同意となりました。

市長提出議案：73件

議員提出議案：1件

予算関係：8件、条例関係：11件、その他：54件

議員発議：1件

採決結果	石山 敬	木村 隆洋	千葉 浩規	野村 太郎	外崎 勝康	尾崎 寿一	蒔苗 博英	松橋 武史	今泉 昌一	小田桐慶二	伏見 秀人	鶴ヶ谷慶市	石岡千鶴子	加藤とし子	鳴海 毅	一戸 兼一	小山内 司	石田 久	三上 秋雄	佐藤 哲	越 明男	工藤 光志	清野 一榮	田中 元	栗形 昭一	宮本 隆志	高谷 友視	下山 文雄	
可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	-
可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-
可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-
不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	-
不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	○	●	○	●	○	○	●	●	●	○	●	●	○	●	●	○	○	●	●	-	

表紙の写真大募集



「ひろさき市議会だより」では、平成29年6月発行(第48号)より、市民の皆様が撮影した写真を表紙に使わせていただいています。引き続き、奮ってのご応募をお待ちしております。

◎テーマ 弘前市内で撮影された写真(風景・まつり・イベントなど)
◎規格 デジタル写真データ (JPEG形式、サイズ1MB以上、横撮りのみ)
◎応募資格 弘前市に在住・在勤・在学の方
◎応募方法 写真のタイトル(10文字以内)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、メール、郵送、持参。※メールの場合は、件名に「だより表紙写真」と入力してください。
◎締め切り 第56号(平成31年5月発行)の締め切りは平成31年3月29日(金)です。
 【詳しくはホームページ、または議会事務局へお問い合わせを。】

委員会等活動報告

厚生常任委員会

医師会役員との懇談会

10月24日(水)
弘前市医師会館
①最近の医療情勢について

市社会福祉協議会役員との懇談会

10月26日(金)
弘前パークホテル
弘前市社会福祉協議会が行う地域福祉活動事業

①地区社会福祉協議会との協働

- ・ほのぼのの交流事業
- ・除雪支援事業
- ・敬老大会開催事業

②その他の事業と今後の方向性及び課題

市体育協会とのスポーツ振興懇談会

10月30日(火)
①体育施設の利用状況について
②主な大会等の開催状況について
③平成31年度弘前市への要望について

議員全員協議会

12月21日(金) 市役所
①弘前市総合計画案について

ひろさき市議会だより編集特別委員会

10月26日(金) 市役所 12月21日(金) 市役所
①掲載内容について ①掲載内容について
②編集日程について

会派一般行政視察

無所属クラブ

10月23日(火)～24日(水)
①北海道函館市
○DBO方式による水道事業について
○生涯活躍のまち形成事業について



函館市役所にて



市社会福祉協議会役員との懇談会の様子

弘前市議会ホームページ

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/index.html>

インターネットによるライブ中継・録画中継、会議録検索システム、議会の日程など、市議会の情報はこちらでご覧いただけます。



「ひろさき市議会だより」について、ご意見・ご感想などがありましたら、今後の参考にさせていただきますのでTEL・ファクス・メールなどお気軽にご連絡ください。

☎ 35-1121 ファクス 35-3005
Eメール gikai@city.hirosaki.lg.jp

発行／弘前市議会 編集／ひろさき市議会だより編集特別委員会
 〒036-8551 弘前市大字上白銀町1-1 ☎ 35-1121
 フォクス 35-3005 Eメール gikai@city.hirosaki.lg.jp

VEGETABLE OIL INK ひろさき市議会だよりは環境にやさしいインキを使用しています。